

入院診療計画書② 血管内塞栓術(全身麻酔)

ID: 患者ID

新規作成日: 新規作成日

氏名: 氏名

日付					～
経過	入院日(手術前日)	手術前(手術当日)	手術後(手術当日)	術後1日目	術後2日目～術後5日目
目標	治療について理解できる		術後合併症を起こさない 安静を守ることができる		日常生活の注意点について理解できる
注射		点滴	点滴	お食事が摂れる場合は、点滴を終了します。	
投薬	内服中のお薬を確認します。 入院中の内服は、変更になる場合があります。	麻酔科医師が指定したお薬のみ内服します。		朝食後から内服を再開します。	
検査			採血	採血	
放射線			頭部CT撮影	頭部MRI撮影	
処置	足の付け根周りの剃毛を行います。 両手首、足の甲の脈拍が触れる位置に印をつけます。	治療用の服に着替えます。 尿を排出する管を尿道に入れます。	心電図、血圧計を付けます。	心電図などの機械をはずします。	
食事	食事の内容が制限される場合があります。 ご希望に応じて、食べやすい食事に変更できます。 アレルギー食品がある場合はお知らせください。 夜9時以降は飲食できません。	飲食できません。	水分だけ摂ることができます。	朝から食事を再開します	
清潔	入浴できます。			入浴はできません。 温かいタオルで体拭きをします。	シャワー浴できます。 体を洗う時は、カテーテルを刺した部位を強くこすらないようにしてください。
排泄		治療前にトイレを済ませてください。	尿を排出する管が入っています。	安静解除後に尿道の管を抜きます トイレに行けるようになります。	
安静度	活動の制限はありません。 転倒の危険がある場合は、看護師が付き添います。	活動の制限はありません。 点滴開始後は、点滴チューブに注意し歩行してください。	治療後(カテーテルを抜いてから)、2～3時間は絶対安静です。 翌朝までベッド上安静です。起き上がることはできません。 治療後、寝返りができるようになる時間を看護師から説明します。	医師の回診後、安静を解除します。 最初の歩行は、転倒の危険があるため看護師が付き添います。 歩行状態に問題が無ければ、一人で歩行できます。	活動の制限はありません。 転倒の危険がある場合は、看護師が付き添います。
リハビリ	入院中にリハビリはありません。				
看護ケア	体温、脈拍、血圧を測定します。 頭痛、吐き気、手足の動かしにくさの有無を確認します。 手足の動脈触知を確認します。	体温、脈拍、血圧を測定します。	帰室してから6時間後まで2時間毎に体温、脈拍、血圧を測定します。 また、意識の状態や手足の動かしにくさの有無、治療部位の状態を観察します。	午前・午後に検温を行います。 カテーテルを入れたところを観察します。 痛みや腫れがある場合は我慢せずお知らせください。	
指導	医師から治療について説明します。 看護師から入院生活について説明します。 薬剤師から服薬指導があります。		6時間後～翌朝までは4時間毎に観察します。	退院後も内服は継続してください。 カテーテルを入れたところに出血や腫れが見られた場合は受診しましょう。 手足のしびれや動かしにくさがある場合は、すぐに受診しましょう。 脱水予防のため、水分をしっかり摂りましょう。	